

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月06日

計画の名称	木更津市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	木更津市												
計画の目標	大地震時における滑動崩落による宅地の被害を軽減するため、大規模盛土造成地の安全性把握調査を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	第二次スクリーニング計画作成のための簡易地盤調査を実施し、大規模盛土造成地の優先度評価の結果を公表する。 大規模盛土造成地優先度評価の結果公表率 (公表率) = (結果を公表した大規模盛土の箇所数) / (優先度評価対象の大規模盛土の箇所数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	木更津市	直接	木更津市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査(木更津市)	第二次スクリーニング計画の 作成(6地区 簡易地盤調査)	木更津市						10	-	
												小計						10	
											合計						10		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
木更津市都市政策課において事後評価を実施	令和5年7月
	公表の方法
	市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	6地区の簡易地盤調査等を実施し、優先度評価の見直しを行い第二次スクリーニング計画を更新した。第二次スクリーニングの優先度については、1地区が第1優先の評価となり、残りの5地区は経過観察を踏まえ対応するものとして評価とした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
優先度が高い1地区については次年度以降、地盤調査及び安定解析等を行い、第二次スクリーニングを行う。 残りの5地区については経過観察を行い、滑動崩落を示唆する現象（変状）が認められた場合には詳細調査を検討する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%